

株式会社 北洋銀行 会社説明会資料



HOKUYOファミリー
ほく-と仲間たち

2016年9月6日

 北洋銀行

(東証第一部・札証：8524)

目次

1. 北洋銀行のプロフィール

- (1) これまでの歩み…………… 1
- (2) 国内の位置付け…………… 2
- (3) 北海道内のシェア…………… 3

2. 経営戦略

- (1) マイナス金利への対応…………… 4
- (2) ～ (3) 中小・小規模企業へのサポート…………… 5～6
- (4) コンシューマーファイナンス…………… 7
- (5) 資産運用相談への積極的な取組…………… 8
- (6) ～ (7) 地方創生…………… 9～10
- (8) CSRへの取組…………… 11

3. 経営成績の推移

- (1) 当期純利益・ROE…………… 12
- (2) 不良債権…………… 13
- (3) 自己資本比率…………… 14
- (4) 第1四半期の状況…………… 15

4. 配当と株価の状況

- (1) 配当方針…………… 16
- (2) 配当金の推移…………… 17
- (3) 株価の動向…………… 18

(ご注意事項)

- 資料には北洋銀行グループの将来の業績、経営目標などに関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化などにより、予想と異なる結果となる可能性があることにご留意ください。
- 北洋銀行以外の金融機関に関する情報は一般に公知の情報に依拠しております。
- 表示金額は特にことわりのない場合、表示金額未滿を切り捨てております。

1. 北洋銀行のプロフィール



ほっくー

(1) これまでの歩み

▶ お陰様をもちまして、北洋銀行は平成29年8月に創立100周年を迎えます。

大正6(1917)年 北海道無尽株式会社として創立

昭和26(1951)年 北洋相互銀行に商号変更

平成元(1989)年 普通銀行に転換、北洋銀行に商号変更

平成10(1998)年 北海道拓殖銀行より営業譲り受け

平成13(2001)年 札幌北洋ホールディングス設立

平成20(2008)年 札幌銀行と合併

平成24(2012)年 札幌北洋ホールディングスと合併

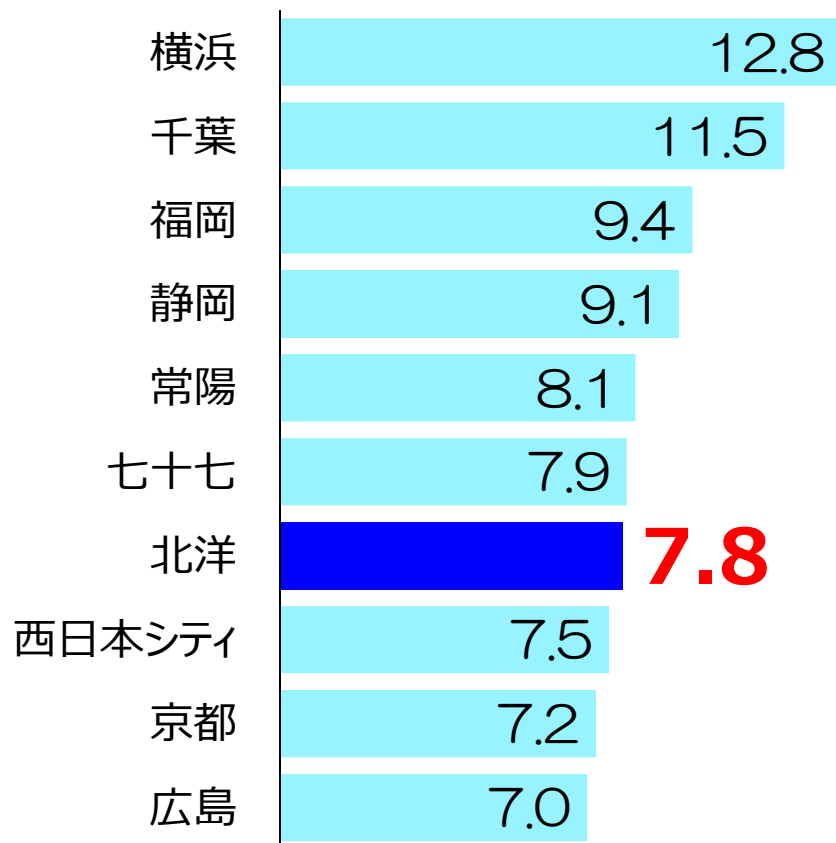
平成29(2017)年8月 創立100周年

(2)国内の位置付け

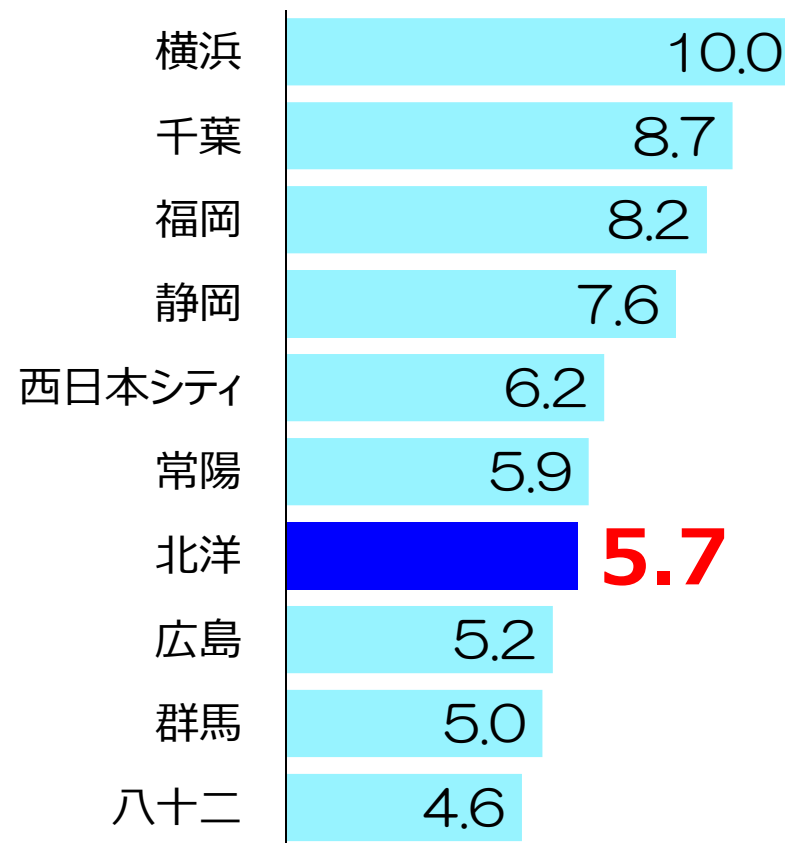
▶ 資金量※、貸出金とも全国の地域銀行で7番目となっております。

平成28年3月末現在（単位：兆円）

資金量



貸出金

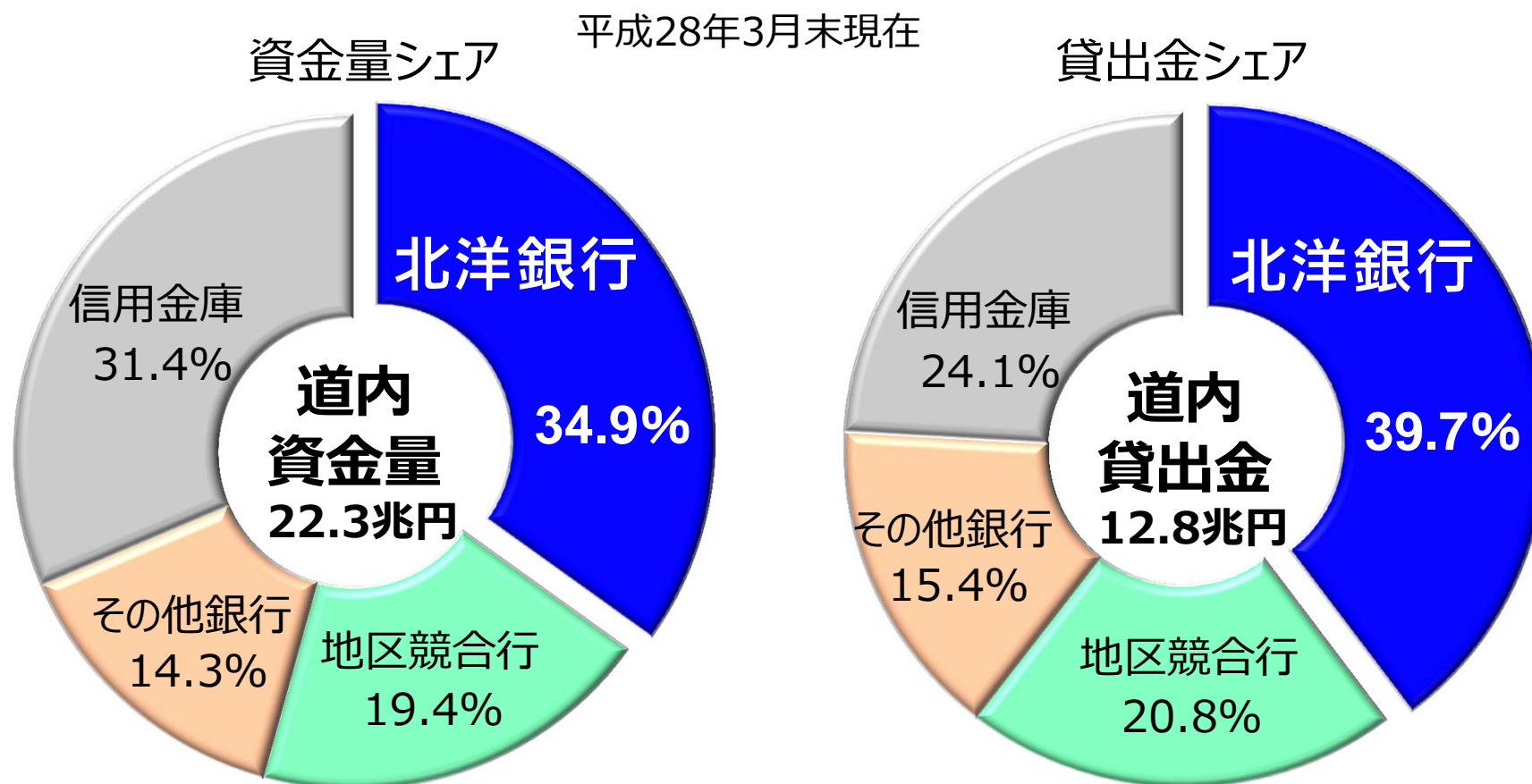


※資金量 = 預金 + 譲渡性預金

(出所) 各行決算資料

(3) 北海道内のシェア

▶ 資金量、貸出金とも北海道内でトップシェアとなっております。



・道内に本支店のある国内銀行（ただし、ゆうちょ銀行、整理回収機構除く）および信金の残高に基づくシェア
・預金は譲渡性預金含む（道内信金の譲渡性預金については、全国の信金の譲渡性預金残高から推計）
・シェアについては切り捨てにより合計が100%になりません

（出所）日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金 地域・中小企業研究所「全国信用金庫概況」「信金中金月報」、各行ディスクロージャー誌により推計

2. 経営戦略



らびりん



まりりす

(1) マイナス金利への対応

- ▶ 収益の向上、ローコスト化両方の施策に取組み、マイナス金利下でもしっかりと利益を確保できる態勢づくりを目指します。

マイナス金利政策・市場金利の低下

貸出金利回りの低下

収益の向上

- ・中小・小規模企業のサポート
- ・コンシューマーファイナンスの強化
- ・資産運用相談への積極的対応
- ・地方創生への取組み

ローコスト化

- ・営業店の事務コスト削減
～営業店の事務を集中化
- ・本部業務管理のコスト削減
～本部業務を子会社委託

収益・コストの両面から利益の確保を目指す

(2) 中小・小規模企業のサポート①

- ▶ イノベティブな企業への出資を通して北海道発信のローカルイノベーションを加速します。

イノベーションファンド

- 技術・商品・ビジネスモデル等に特長・優位性のある成長期待企業への支援
- 平成28年6月には5億円から10億円に増額



株式引受

株式買戻

ファンド投資期間(5年)

資本増強

企業の
成長・発展

企業価値
(株価)向上

出資の事例



トンネルバルーン養生工法 (出資先の特許の一つ)

建設資材商社に留まることなく、独自技術や特許を開発。開発型事業への果敢なチャレンジをサポートすべく出資しました。

- ▶ 地域のものづくり企業の販路拡大や企業間連携の促進、技術交流などを通じて、地域産業の磨き上げをサポートします。

ものづくりテクノフェア

～東日本最大規模の商談会～

平成28年実績

出展者数：228社・団体

来場者数：約4,800名

いずれも過去最高

○当日の商談件数 1,319件

○多様な産業の出展

食品加工機械、環境・エネルギー、金属・機械・
自動車、電気・電子、IT・ソフトウェア等

○道外との広域連携

青森県、静岡県、東京都大田区、三重県、
名古屋地区等から45社出展



フェアの全景



出展ブースの様子

▶ スーパーアルカとA T Mカードローンの主力 2 商品を中心に、大きな伸びを見せております。

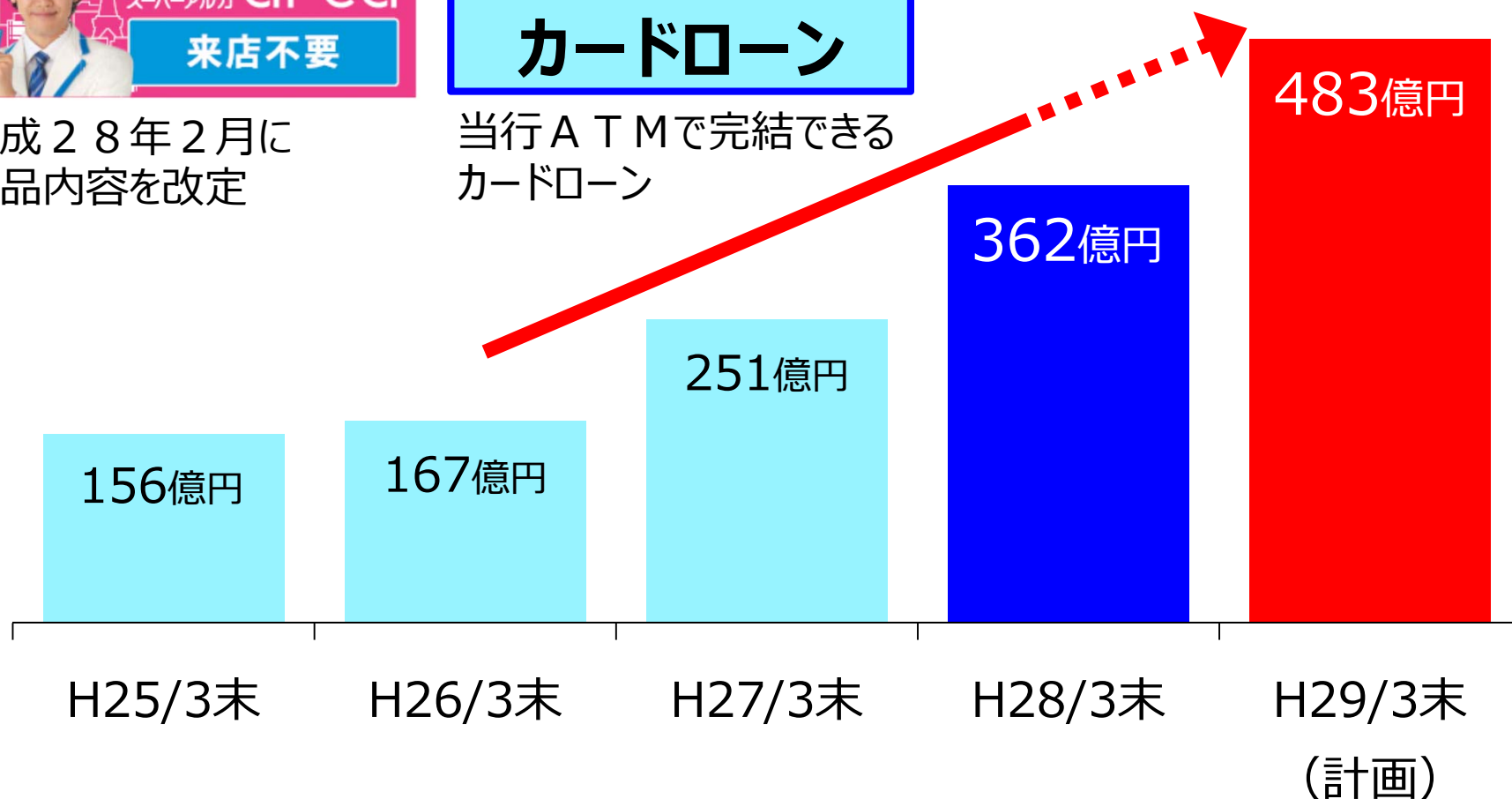


平成28年2月に
商品内容を改定

A T M カードローン

当行A T Mで完結できる
カードローン

カードローン残高推移



(5) 資産運用相談への積極的な取組

- ▶ お客様のライフステージに応じた資産形成や相続対策を積極的にお手伝いいたします。

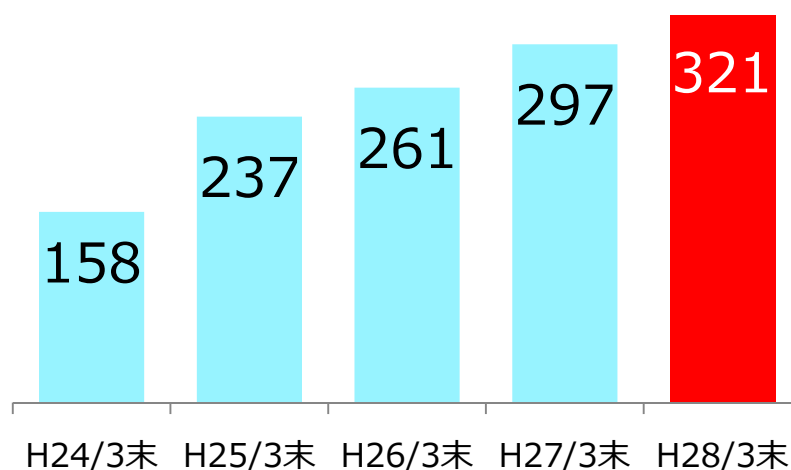
ライフステージで最適なお提案

専門スタッフを
増員・育成



多彩な商品ラインナップ

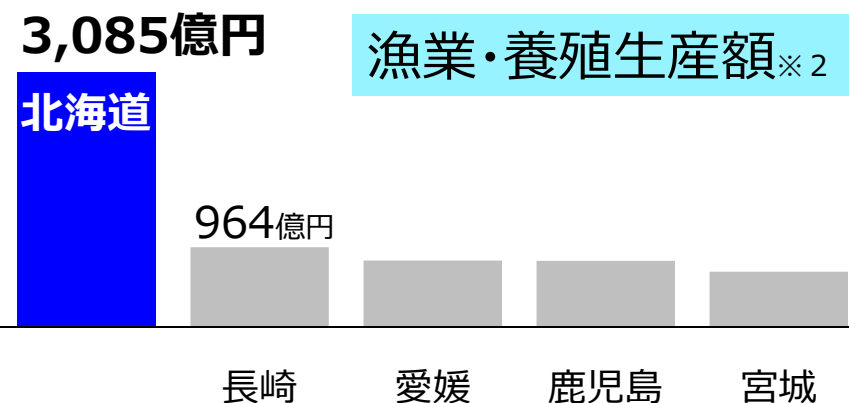
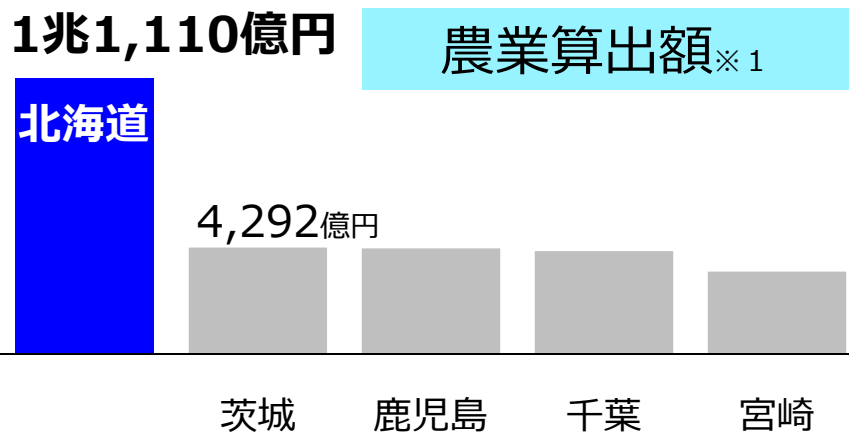
預かり資産専担者数 (人)



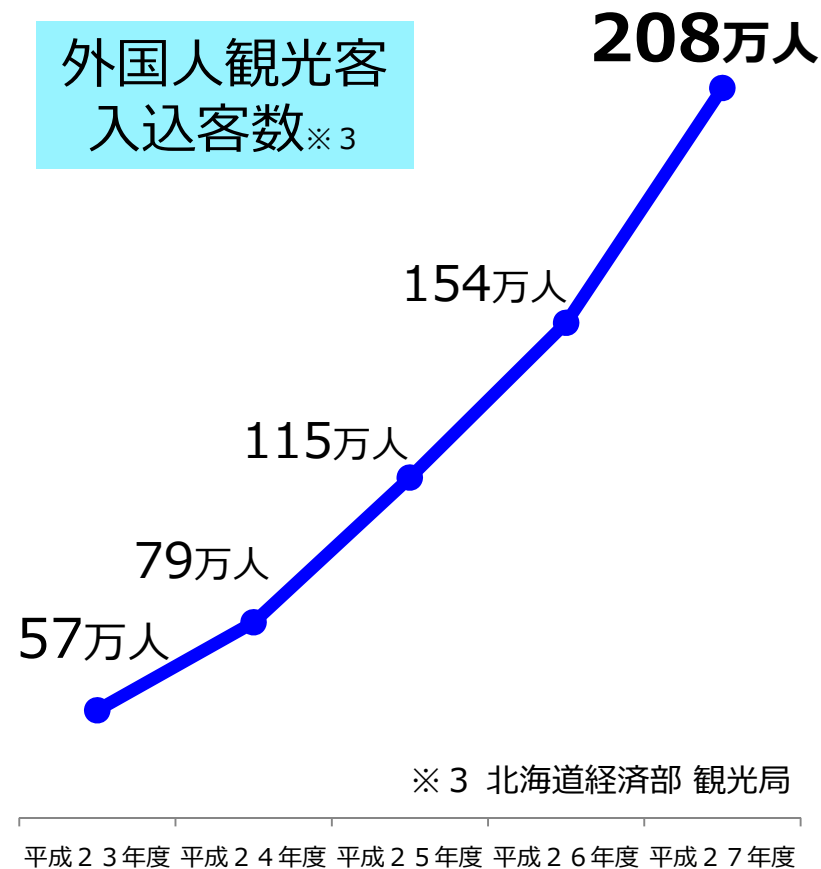
(6) 地方創生①～北海道の可能性

▶ 食と観光は、北海道の魅力と強みであり、同時に可能性でもあります。

農業・漁業とも全国No.1



外国人観光客が大幅増加



※1 農林水産省 H26年生産農業所得統計 ※2 農林水産省 H26年漁業生産額

▶ 北海道の強みである食と観光を活かすべく、積極的な支援を展開しております。

生産

農業生産法人
株式会社ファームズ千代田



一次産品(肉・生乳等)提供

送客・ツアー

札幌観光バス株式会社



海外富裕層などを送客
(写真はラグジュアリーバスの内装)

**北洋6次産業化
応援ファンド**

出資

肉牛・生乳を活用した事業を展開

美瑛ファーマーズマーケット
株式会社



オーベルジュ新規運営
(平成29年冬オープン予定)

1次産業と2次・3次産業が連携することで付加価値の高いサービスを創出する「6次産業化」を支援するファンドです。

事例では、「食材の提供と送客で連携し、レストラン、オーベルジュの運営や乳製品の製造・販売する事業」を、出資および連携する会社への融資などによりサポートしております。

▶ 地域社会の一員として、環境や地域社会などのステークホルダー(利害関係者)に配慮した活動を行っております。

地域の未来のために

中学生作文コンクール



中学生の育成を目的として毎日新聞主催中学生作文コンクールに協賛しております。

ほっくー基金



環境保全への取組みの一環として、北海道の生物多様性保護を目的とした「ほっくー基金」を創設しております。

働きがいのある職場目指して

「えるぼし」の取得

北海道で初認定

認定マーク「えるぼし」

最高評価「三段階目」

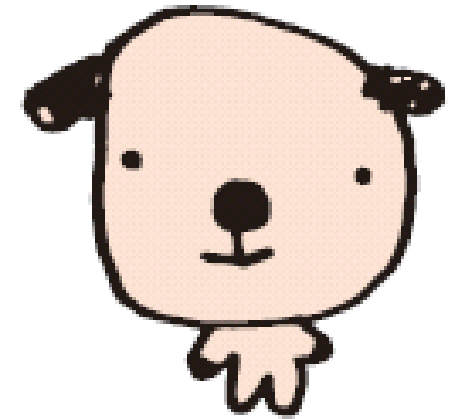
全国で105社※が認定



※厚生労働省発表、平成28年6月末現在。

女性活躍支援法に基づき、採用の平等性や継続就業など、女性活躍の取組み状況が優良な企業として、認定マーク「えるぼし」を道内で初めて取得しました。

3. 経営成績の推移



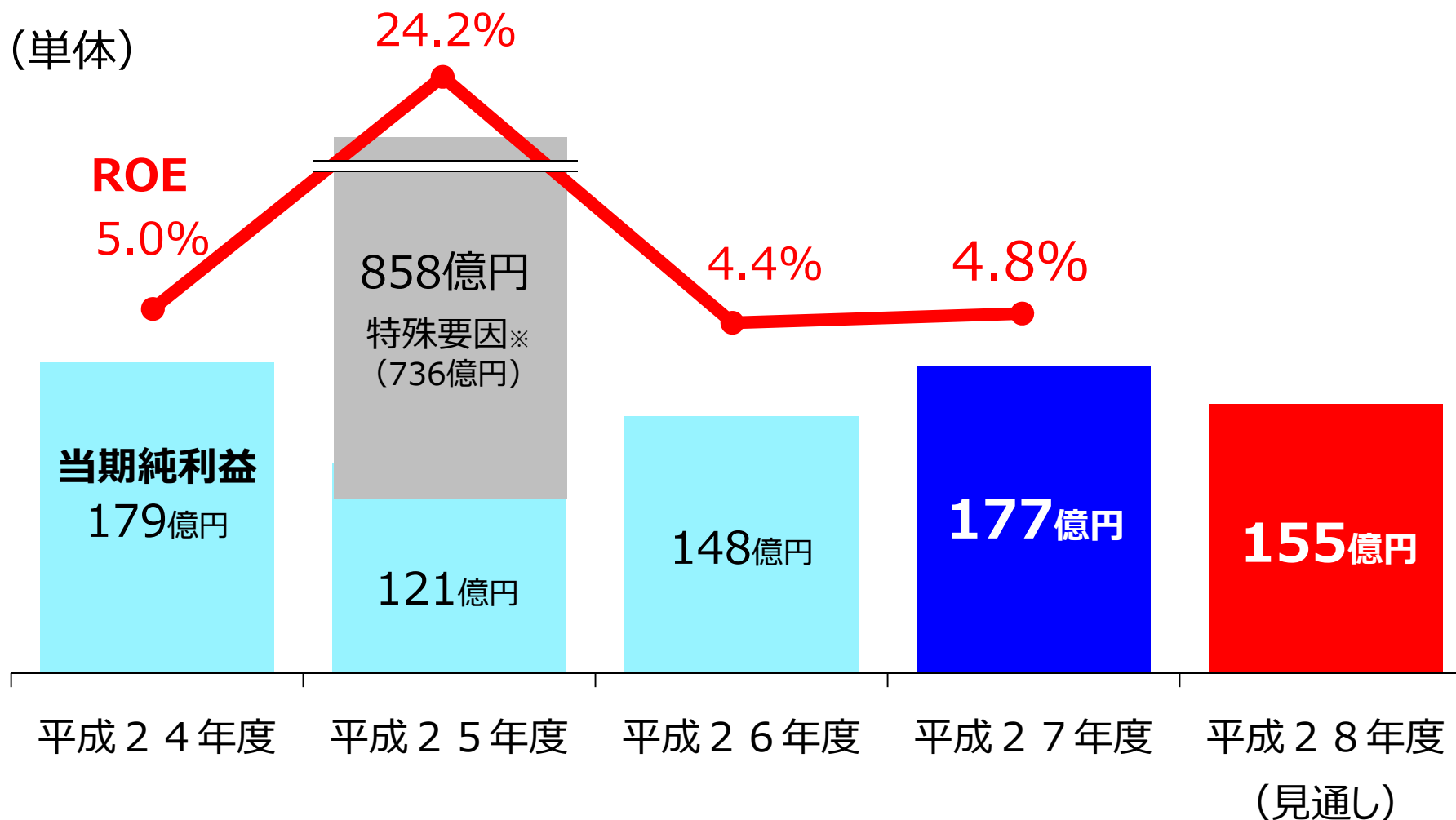
こわんた



きたこん

(1) 当期純利益・R O E

▶ 平成27年度は有価証券の利息配当金や売却益などにより、増益となりました。

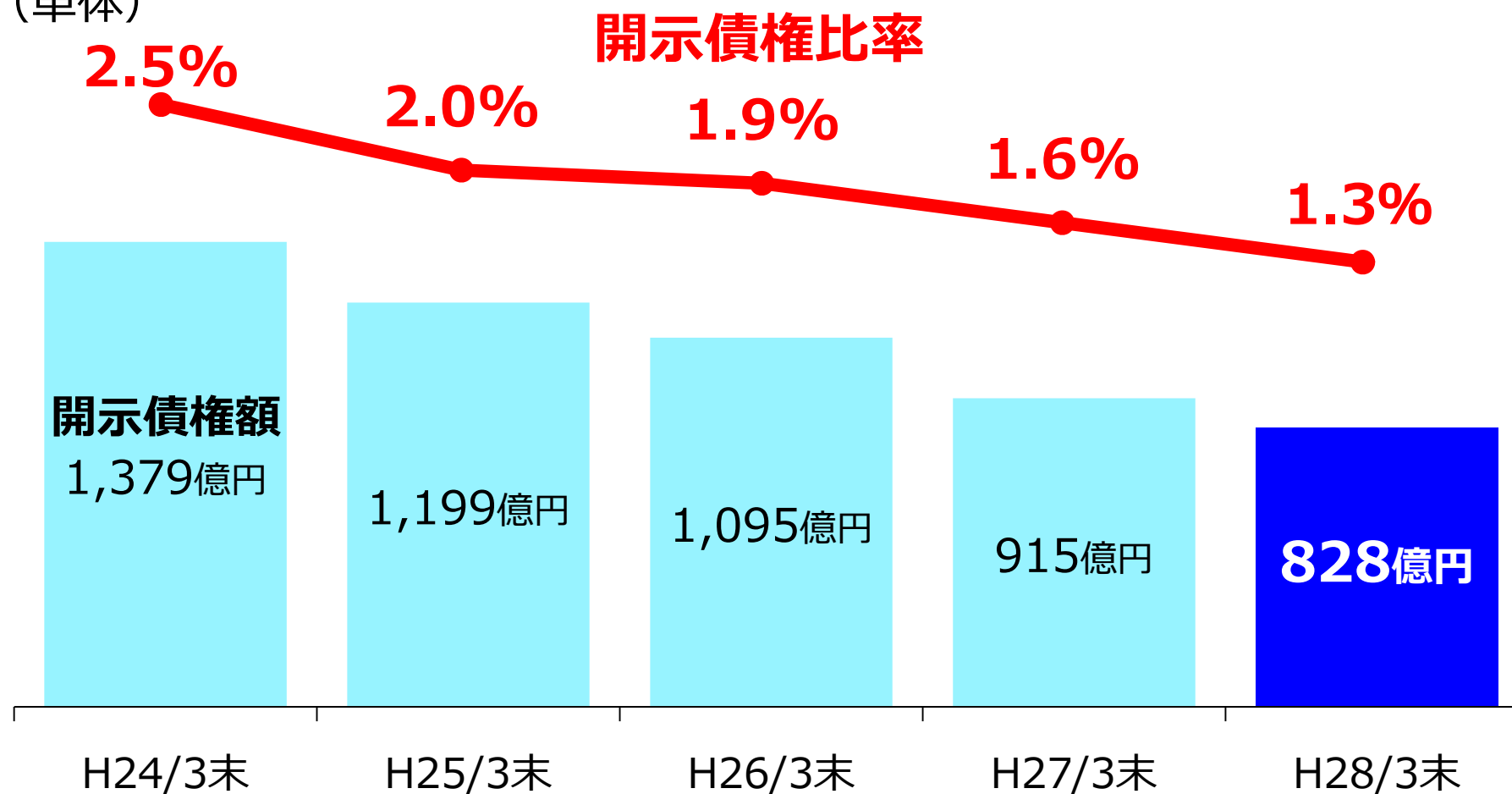


※平成25年度は特殊要因として、価格変動リスクの高い有価証券の売却益等を736億円計上

(2)不良債権

▶ 開示債権額および同比率とも改善傾向が続いており、地域銀行で最低水準となっております。

(単体)

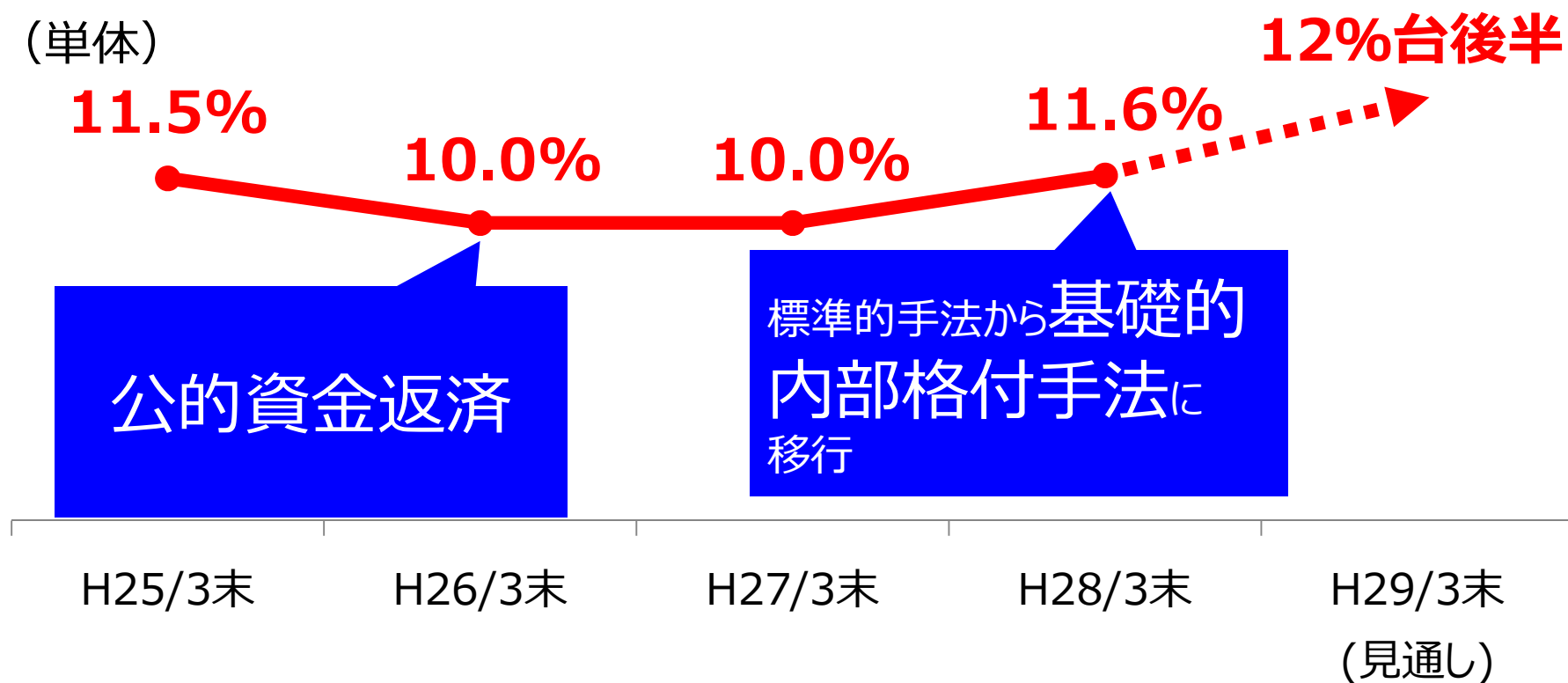


※部分直接償却後の債権額および比率 (部分直接償却は未実施)

(3) 自己資本比率

▶ 自己資本比率は国内基準行の最低水準 4 %を大きく上回っており、健全性を確保しております。

(単体)



※ 1. 自己資本比率 = 自己資本 ÷ リスクアセット

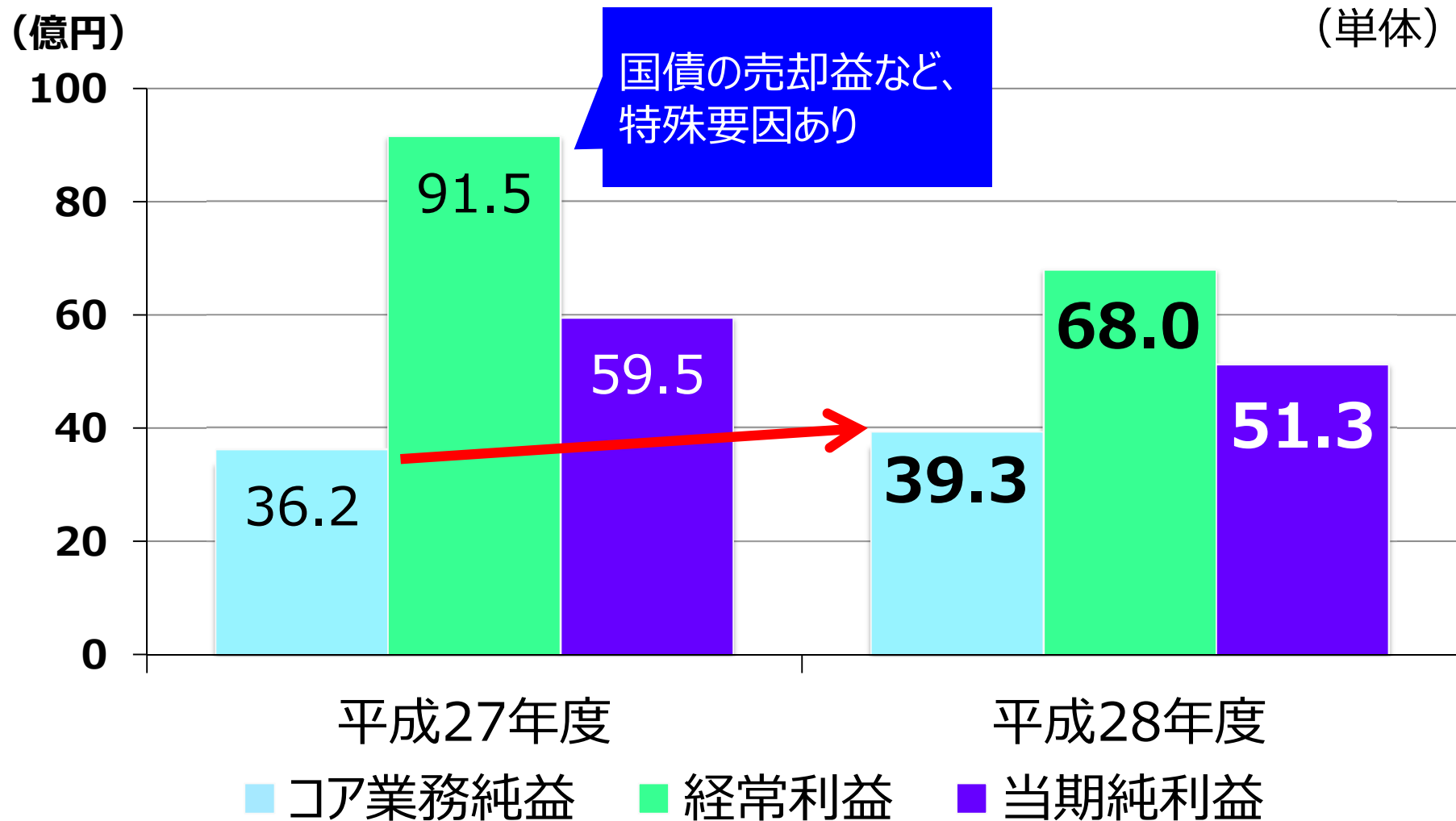
※ 2. 標準的手法と基礎的内部格付手法について

標準的手法は、金融庁が定めた一般的な掛目を用いて「リスクアセット」を算出する簡易な手法です。

基礎的内部格付手法は、銀行がそれぞれの取引先に付与した格付に基づき「リスクアセット」を算出するもので、金融庁が承認した銀行のみが採用できる高度な手法です。

(4) 第1四半期の状況

▶ 本業の収益を示すコア業務純益は増益となりましたが、平成27年度のような特殊要因がなく、経常利益以下は減益となりました。



4. 配当と株価の状況



もりほー



もぎゅ

(1) 配当方針

- ▶ 平成27年度より業績連動配当制度を再開しております。

普通配当金
年間 **10** 円

+

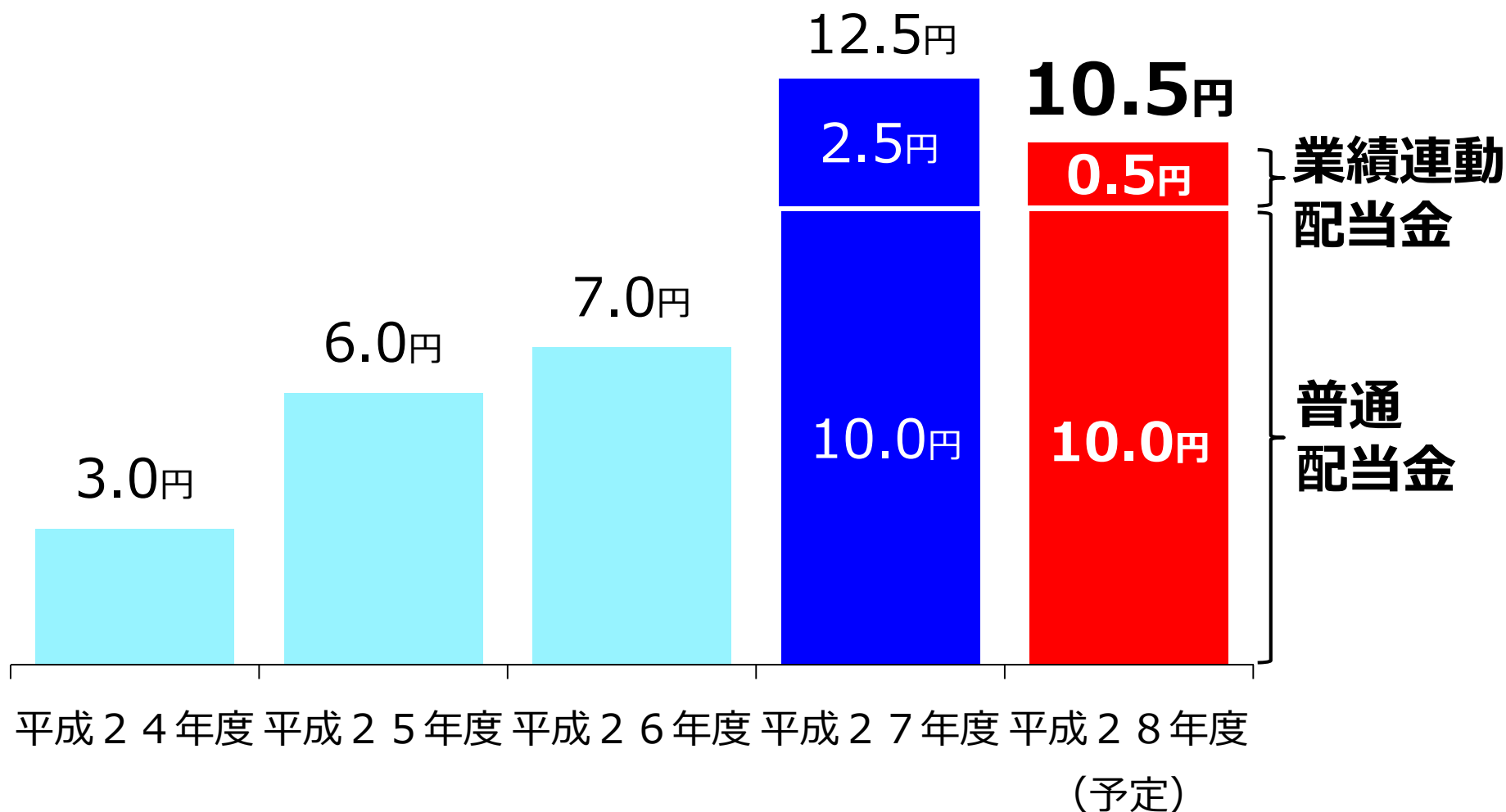
業績連動
配当金

連結純利益※ **150億円を超える部分の
30%**をめぐりに還元

※親会社株主に帰属する当期純利益

(2) 配当金の推移

▶ 平成28年度の年間配当金は10.5円の予定です。



(3) 株価の動向

▶ 平成25年以降、概ね東証銀行業指数を上回るパフォーマンスで推移しております。

株価の推移 (平成25年1月 = 100)

